

第8回 宇部市常盤通りウォークブル推進協議会 ～会議録～

日時	令和5年7月19日（水）10:00～11:30	
場所	市役所3階 3-3会議室	
出席者	協議会	市長（会長）、岡松委員、宋委員、宮崎委員、熊谷委員、山田委員、大久保委員（北村委員の代理）、野嶋委員（欠席）、中野委員、榊原委員、江嶋委員
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 道路管理第一課：原課長、中井建設専門官、溝口占用係長
	事務局（市）	都市政策部：磯中部長、福田次長、渡辺次長 中心市街地活性化推進課：野村課長、上田副課長、安部係長、野崎、光木
	設計者	戸田風景・宇部セントラル設計共同企業体 （戸田芳樹風景計画）古賀代表取締役、堀井 （宇部セントラルコンサルタント）長尾専務、岡田

本協議会の内容

- ・実施設計図面（ロール紙等）や素材サンプルを囲んで意見交換

議事概要

■設計内容の説明

実施設計の内容を説明【設計者】

- ・基本的に協議会及び部会で決定した整備方針を踏まえた設計としている。
- ・ヒストリア前は歴史を感じられる空間であることからプラタナスを残置（整備方針）
- ・ケヤキ並木の樹間については協議会の意見を聞きたい。
*現在の間隔は5～6m。既存のケヤキ（残置）の間隔や供用開始時点である程度の密度を確保するため設定しているが、かなり狭いと考える。ケヤキの樹冠の形状や5年10年後の成長を考慮し最低10m以上樹間を確保することが良いと考えるがいかがか。
- ・低木、地被類は管理のしやすさを考慮。かつ葉に色があるものを混ぜることで花を植えなくても彩りがあり単調になるのを防ぐ植栽計画とした。

■素材のサンプルについて

（デッキ舗装材）

【設計者】 廃プラを埋め込んでおり、環境に配慮した製品。表裏面の使い分けが可。車両対応。色はブラウンとグレーの2色。現在、ブラウンを想定している。透水性はないため、リムで排水する。

【委員】 ブラウンの方が良いと思う。排水については、少し検討が必要と思う。

（インターロッキングブロック）

【設計者】 人や樹木、ファニチャーなど滞在空間を引き立たせるために、インターロッキングはモノトーンで設計している。透水性あり。

【委員】 色はオーク系のカラーもあるのか。

【設計者】 複数色ある。

【委員】 ブロック自体が膨張して隙間が無くならないか。

【設計者】ブロック間に砂目地 2mm を見込んでいるため隙間がなくなることはない。

(デッキ材)

【設計者】ベンチやウッドデッキ（車両非対応）については、再生木材としている。
耐用年数は 10～20 年程度である。

(人工芝)

【委員】四日市市で人工芝が使われていたが、水が溜まり中々排水が出来ていなかった。下地のコンクリートの水勾配管理が重要である。

(材料選定全般)

【委員】持続可能性を考慮すると、特注品の活用は、将来的に調達が困難となったりする場合があります、注意が必要。なるべく汎用品の活用が望ましいと考える。また、使用材料の型番をしっかりと残し、担当が変わっても共有されることが必要である。

■実施設計図面について

【委員】新庁舎広場（国道との敷地境）には樹木（高木）の計画があるということによいか。これがないと景観的に厳しいと感じる。

【設計者】現時点で樹種までは決定していないが、高木の計画はある。

【委員】前回の協議会で示された資料では、バスシェルターはフラット型で、照明灯がカバーで隠せ、デザイン的にも良かった印象である。今回の図面ではアーチ状に代わっているがなぜか。

【事務局】国との協議で汎用性のあるものに見直しを検討していた。

【委員】できれば通路シェルター（国道に直交）の幅や曲がりの位置を考えるとアーチだと難しいのではと感じる。フラット型を再検討いただきたい。

【事務局】国と再度検討する。

【委員】交差点付近にある樹木（高木）は、車両から横断歩道の通行人等が見にくい可能性がある。極力樹木がないようにしていただきたい。副道から本線へバスなどが合流する際の視認についても妨げとならないように植樹帯への樹木の位置には注意いただきたい。

【委員】交差点の高木を植えるのが難しければ、少しスペースができるので低木や地被類を植える花壇を広げてみてはどうか。

【委員】車道の左車線に矢羽根を計画されている。車両である自転車は本来車道を通行すべきだが、現在、常盤通りの歩道は自転車歩行者道路となっており、歩道内の車道寄りを走行することが可能である。しかしながら、通行帯と車道の間滞空間ができることから安全上のことを考えると、景観を損ねない範囲でプランターのようなものを滞空間と歩行者帯の間に設けてはどうか。あるいは、自転車は押して通行するなどのルール作りが必要と思う。点字ブロックを民地側へ移動すると自転車が通行できる幅が広がる。

【委員】 自転車通行帯はインターロッキング舗装の色を変えるのもよい。

【委員】 自転車マークの設置などでうまく誘導できないか。サイクルエイドなどもあるとよいか
もしれない。将来的に2車線や2.5車線も検討いただきたい。

【委員】 宇部独自のルール（ガイドライン）を作るのもあり。

【委員】 井筒屋前のプラタナスを1本でも残せないだろうか

【事務局】 8/10に地元説明会を予定している。その際に意見を聞いてみる。

【会長】 バリアフリーについてもしっかり検討してほしい。